

ともに歩む

2000 No1



中播福祉会広報発刊にあたって

中播福祉会理事長（香寺町長）

橋本良春

新年あけましておめでとうございます。平素は、中播福祉会運営に対し、深いご理解とご支援をいただいておりまこと、衷心より感謝申し上げます。

社会福祉法人中播福祉会は、神崎郡5町と夢前町が設置した「公の施設」の運営を受諾し、構成町の福祉行政の一翼を担い、住民福祉の進展に寄与することを目的に、昭和52年に設立されました。

中播福祉会発足の源は、知的障害児・者の親の会である、中播磨地区手をつなぐ育成会の運動にはじまります。知的障害者を持った人たちが学校卒業後、日中活動をする場がなく、止むなく家で過ごすことしかできない方がたくさんおられました。そこで、「日中活動をする場をつくってほしい」という当事者の熱い願いを、関係各町と地域が受けとめ、昭和50年2月に通所施設「いちかわ園」が誕生いたしました。その後、昭和52年には法律に基づく社会福祉法人としての運営形態となりました。

昭和55年には入所施設「香翠寮」の設置、平成6年には老朽化した「いちかわ園」の新築、平成10年には「いちかわ園ゆめさき分園」の設置と受託施設も増え、管内の知的障害者施設福祉の中核を担うまでに至りました。

この間、国、県始め関係各町、議会ならびにボランティアの皆様をはじめとする多くの団体、地域住民の皆様の、法人運営に対する深いご理解と暖かいご支援に対し、心から厚く御礼申し上げます。

このたび、中播福祉会が創刊した広報「ともに歩む」は、広域行政的運営の法人として、地域住民への広報活動を通じて、その運営状況を明確にしていく中で、より地域に密着した法人運営を目指しています。

当福祉会では、来年度より、障害者の在宅生活を支援していくための、障害者生活支援事業を計画しております。今後益々、多様化していく障害者福祉のニーズに応えるべく、管内町行政と一体となった法人運営に寄せる住民の皆様の期待も一層高まつくるものと思われます。まさしく、21世紀の法人運営は、施設福祉と地域福祉が両輪の如く展開していくことが重要課題であると認識しております。

最後に、「ともに歩む」創刊にあたり、ご協力いただいた関係各位に心より御礼申し上げ、今後、中播福祉会と地域住民の皆様が、益々絆を強め「ともに歩む」ことを祈念いたしまして挨拶といたします。

社会福祉法人 中播福祉会

法人事務局 兵庫県神崎郡香寺町土師365番地1

TEL. 0792-32-6151

FAX. 0792-32-7250

ホームページ アドレス <http://homepage1.nifty.com/nakafuku/>

広報発刊を祝う



神崎郡町村会長
(大河内町長)
藤田 稔太

新年あけましておめでとうございます。
皆様には、新年を健やかにお迎えのこととお喜び申上げます。

中播福祉会の設置から二十年の佳節を迎えるにあたり、広報が発刊されることは中播福祉会にとって新たな事業展開への節目でもあります。心よりお祝い申しあげます。

さて、一九八一年に国連総会で決議された「国連障害者十年」が終わり、更に国連アジア太平洋経済社会委員会総会において一九九三年から二〇〇二年までを「アジア太平洋障害者の十年」として取り組ま

てあります。

中でもわが国はその共同提案国であり、そうしたことから中心的存在として、その果たすべき役割は多大で、今後益々の障害者福祉に対する積極的な取組みが大きく注目されるところで

あります。
しかし、そうした中で知的障害者に対する施策の勢いは弱いという印象が強くあります。
というのも、知的障害のある方への福祉行政の歴史は極めて浅く、老人福祉計画にみられる具体的な施策を地域において展開することが、まだまだ摸索の段階であるかと思います。

現在中播福祉会で障害児(者)地域療育等支援事業の準備がなされております

が、こうした地域に根ざした事業の展開が、今後障害者の福祉の分野においても必要不可欠なものになつてきます。

新年あけましておめでとうございます。
日ごろは、障害者に対しまして、ご理解とご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。



中播磨地区手をつなぐ育成会会長
岡本 博

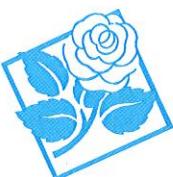
新年あけましておめでとうございます。
日ごろは、障害者に対しまして、ご理解とご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。

今般、中播福祉会広報を創刊されるにあたり、心よりお祝い申し上げます。
今、社会福祉改革の基本的な考え方として、個人の自立支援、利用者による選択の尊重、サービスの効率化を柱として、社会福祉の基礎構造改革がすすめられ、家庭や地域の中で、障害のこの度、広報が発刊されると、行政を含めた地域住民への深い理解を求めていく必要があります。この度、広報が発刊されるにあたり日ごろ障害者福祉にたずさわるみなさんの、みなみなならぬご努力の一端が紹介されることが、地域への理解と協力の一助になることを期待するものであります。

広報発刊を祝う

豊かな地域生活をめざして

その中で、今後、福祉に



中播福祉会の運営方針について

中播福祉会事務局長
上月範昭



上月範昭

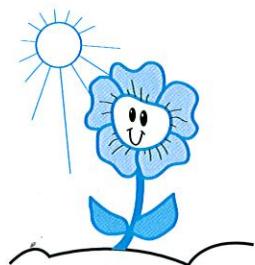
対する需要は一層増大し、多様化していくことと想われますが、公的運営の社会福祉法人としての中播福祉会の立場はきわめて重要であり、地域に根ざした福祉サービスの担い手としてふさわしい公共性、信頼性を確保されると共に、普段培われた専門性や力量を発揮され、障害者の「安心、安全で豊かな地域生活」ができる「生活支援システム」の構築と、充実した地域福祉体制の創出に向けて一層の研鑽とご努力に専念されことと想いますが、そうした内容を、詳しく地域に広報することにより、地域啓発を一層うながすと共に、利用者への情報の伝達が、多様な制度利用に対するアプローチとして活用されることが魅力として考えられます。

中播福祉会広報が福祉情報の媒体として、益々の充実と発展されることを衷心より祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

日頃より、中播福祉会運営に対しまして、温かいご理解と格別のご支援を賜ります。これも、中播磨地区手をつなぐ育成会会員の皆さん方が熱い願いと、構成6町関係者の皆さん方の努力は、つねに及ばず、地域の皆さん方のご支援の賜と深く感謝いたしております。

昭和四五年に心身障害者対策基本法が制定され、平成五年度に改正された障害者基本法の基本理念は、「すべての障害者は、個人の尊厳が重んじられ、その尊厳にふさわしい待遇を保障さ

ゼーションの理念及びリハビリテーションの理念に基づき障害者の個々がライフステージのすべての段階において、家庭や地域で障害のない人と同様に生活し、活動できる社会づくりを目指すため、各町においても障害者福祉プランが策定され、その福祉プランの目標にむかって努力されております。又、国においても介護保険の実施と併せて、施設福祉から地域福祉への流れを大きく変えようとしています。すなわち地方自治の強化と福祉施策における共助の精神に重点を置き、地域における支援体制の確立が必要としています。当社会福祉法人中播福祉会も知的障害者援護施設（入所施設・通所施設）の三施設を運営し、合計八十名の知的障害者の方に利用して頂いておりますが、中播福祉会の管内では約四〇〇名以上の方がおられます。従つて当中播福祉会を利用している方は二割にしか達しておりません。

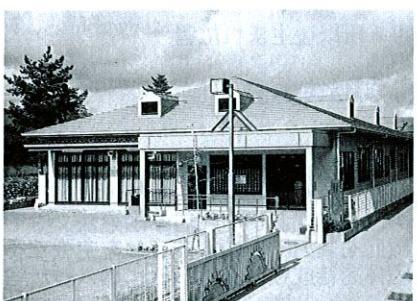


以上の観点から二十一世紀に向けた中播福祉会の基本方針は、次に掲げる四項目とします。
 (一) ひとづくり
 (二) 人権擁護の確立
 (三) 施設福祉の充実
 (四) 地域福祉施策の確立

後八割の方々は地域で生활されており、公的援助を希望している現状あります。当中播福祉会としても、法人設立二十周年を契機に、各地域において生活されている方々に支援の手をさし進していきたいと計画しております。そのひとつが障害児（者）地域療育等支援事業であります。

いちかわ園

知的障害者授産施設（通所）定員 35 名
 〒 679-2315
 兵庫県神崎郡市川町西川辺 462 番地 1
 ☎ 0790-26-2184
 FAX 0790-26-2572
 E-mail ikn2184@maple.ocn.ne.jp



いちかわ園ゆめさき分園

知的障害者授産施設（通所）定員 15 名
 〒 671-2103
 兵庫県飾磨郡夢前町前之庄 2203-1
 ☎ 07933-7-5037
 FAX 07933-7-5039



香翠寮

知的障害者更生施設（入所）定員 30 名
 障害児（者）短期入所事業【ショートステイ】
 〒 679-2163
 兵庫県神崎郡香寺町土師 365 番地 1
 ☎ 0792-32-6151
 FAX 0792-32-7250
 E-mail fukusi@mb.infoweb.ne.jp



知的な障害を持つ、18歳以上の人で一般の事業所に雇用されることが困難な人が、日々家庭より通所し、地域社会の中で豊な生活を送ることができるよう家庭、地域、関係機関と連携しながら自立に必要な訓練を行い、職業を与えて自立することを目的とする施設です。

知的な障害を持つ、18歳以上の人で生きがいのある生活を営み、その更生に必要な指導及び訓練を行い、家庭、地域、関係機関と連携しながら社会復帰を目指すことを目的とする施設です。

☆ 制作者 市川町立瀬加中学校 岡本樹里さん

中播福祉会シンボルマークについて

平成十一二月二十日制定
(因案説明)

やさしさと平和の象徴である六羽のハートが、一体となつて円を描いている姿は、中播福祉会管内の六町の人々が共に手を携え、福祉社会をめざしていく姿勢をシンボライズしています。

中播福祉会シンボルマーク

中播福祉会役員紹介

監事	副理事長
堀田孝夫 (市川町議会議員)	橋本良春 (香寺町長)
上月登 (香寺町民生委員)	藤田正義 (神崎町長)
上月範昭 (法人事務局長)	松下洋一 (市川町長)
中嶋敏 (神崎町社会福祉児童委員協議会総務)	島田稔太 (福崎町長)
高岡正美 (夢前町社会福祉協議会長)	菊川豪 (菊川神経内科医院長)
高岡正美 (夢前町社会福祉協議会長)	北川薰 (大河内町社会福祉協議会長)

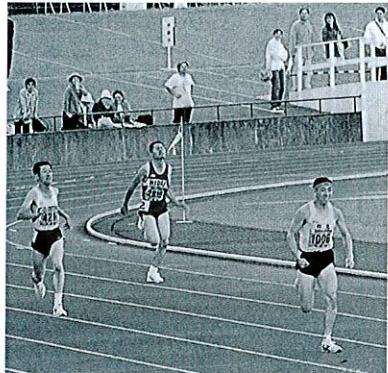
中播福祉会ふれあい短歌集

中岡正司

常日頃気につかざりし園生のマイク片手にうたう「みちづれ」(法人合同カラオケ大会)

やさしさと平和の象徴である六羽のハートが、一体となつて円を描いている姿は、中播福祉会管内の六町の人々が共に手を携え、福祉社会をめざしていく姿勢をシンボライズしています。

大北選手 (写真中央)



出場 おめでとう

いかがわ園の利用者、大北浩次さんが、去る十月二日・三日島根県松江市で開催された第八回全国ゆうあいピックに兵庫県の代表として、陸上百メートル(青年)二百メートル(青年)に出場されました。彼は平成八年にも北海道大会に出場しており、今回で二度目の出場でした。

健闘の結果、記録は次の通りです。
百メートル (青年) 十五秒〇六
二百メートル (青年) 三十秒五八

平成12年度 社会福祉法人中播福祉会(知的障害者援護施設) 新規職員の募集について

参加費 無料

場所 香寺町老人福祉センター

日時 平成十二年二月二十五日(金) 午後一時～四時

講師 中岡正司

テーマ 「福祉施策の動向と権利擁護の課題」

開催のお知らせ

中播福祉会「福祉セミナー」

講師 講師
兵庫高齢者・障害者権利擁護センター
(あんしんネット・ひょうご)

所長 十河美子氏

中播福祉会・いかがわ園保護者会
平成十二年二月二十五日(金)

編集後記

年に編むむ」としました。来年度より「ともに歩む」は年二回の発刊を予定しております。編集内容も、よりみんなが親しめる内容になります。お声をお寄せいただきますので、皆様

・新年あけましておめでとうございます。中播福祉会が発足して二十年、そして二〇〇〇年を迎えた記念すべき時に、より地域に密着した法人運営を目指して、中播福祉会広報「ともに歩む」創刊号を発刊することが出来ました。この発刊にあたり寄稿いただきました方に厚くお礼申し上げます。

・中播福祉会の運営が地域の皆様とともに歩んでいくことを願つて広報のタイトルは「ともに歩む」としました。来年度より「ともに歩む」は年二回の発刊を予定しております。

- 職種
 - (ア) 直接処遇指導員 1名
 - (イ) 調理員 1名
- 応募資格
 - (ア) 直接処遇指導員
 - 昭和50年4月1日以降に生まれた者
 - 高等学校卒業以上(見込み者含む)
 - 教員・保母免許取得者又は社会福祉主事資格取得者
 - 普通自動車運転免許証取得者
 - (イ) 調理員
 - 昭和35年4月1日以後生まれた者
 - 調理師免許取得者
 - 普通自動車運転免許証取得者
- 応募適用除外者
 - (ア) 禁治産者及び準禁治産者。
 - (イ) 禁固以上の刑に処せられ、その執行が終わるまで、又はその執行を受けることがなくなるまでの者。
 - (ウ) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党、その他の団体を結成し、又はこれに加入した者。
- 受付時間

平成12年1月20日(木)～31日(月)
(土、日曜日及び祝日は除く午前9時～午後5時)
- 試験日

平成12年2月中旬～下旬
(受験申し込み者には後日連絡)
- 問合せ先

〒679-2163 神崎郡香寺町土師365番地1
社会福祉法人 中播福祉会 香翠寮
(0792-32-6151)